一人ひとりのお気に入りが見つかる、誰もが主役になれる居場所“瀬戸内町”
スポーツで小さな町から大きな世界へ!

スポまち！表彰2026
鹿児島県大島郡瀬戸内町

＜目標＞　　**計画期間：**～令和１１年３月３１日

町民とともに築き上げるスポーツの力・スポーツの輪・スポーツを通じての居場所!

01. 関係人口の拡大
“する・みる・サポートする・そして知る”が軸となるスポーツイベント スポーツフェスティバル
参加関係者 14ブース 1,348人(R7) ▶ 25ブース 2,000人(R10)

02. 利用人口の拡大
“インクルーシブに配慮した誰もが楽しめる遊具設置公園”の環境整備を継続
来場者 未集計(R7) ▶ 15,000人(R10)

03. 訪問人口の拡大
競技そのものだけでなく、伝統文化の魅力“相撲”を世界へ発信!インバウンド観光誘致
インバウンド誘致 0組(R8) ▶ 5組(R10)

＜ＰＲポイント＞

スポーツをきっかけに**出逢い**が広がる。**“したい”**が増える。**挑戦**が始まる。そんな居場所が瀬戸内町にある。**誰もが主人公**になれる、**お気に入りがきっと見つかる町**。そして**紡いできた競技文化**を**世界へ**届ける!

＜現状・課題＞

・“結いの心”があり、助け合い精神に溢れている町だが、人口減少、少子高齢化が進み、繋がりが希薄化している
・関係人口に偏りがあるため、誰もが主人公になれるきっかけづくりが必要となる
・競技を超えた魅力“文化的背景”“祭りで繰り広げられる伝統の力技”を披露し、クルーズ船誘致などインバウンド向けに魅了を発信

＜総合的な取組内容＞

01. 好奇心を原動力へ!

◉フェスティバルの充実と定着化
公式SNSを活用し最新の魅力を発信し、気軽に参加できる場として周知!

◉誰もが主体的に活躍できる場
種目ブースを拡大し、スポーツを通じて協力団体が集客や運営仕組みを学ぶきっかけに!

◉挑戦できるやりがいを生む町づくり
企画立案する機会でやりがいを感じ、活気溢れる魅力ある町に!



関係人口は町民の4人に1人という形へ。

一人ひとりが

02. わたしの居場所!

◉誰もが楽しめる居場所の公園設置
性別、年齢、身体能力、障がいの有無に関わらず誰もが集える場として認知されるよう広報!

◉お気に入りが見つかる場所
遊具利用だけでなく自然を堪能し、心の健康も養う場所へ環境整備!

◉多様なイベント活用の場所
スペースを有効活用し、地域食堂といったミニイベントの実施場所へも!



町の集客場所といえば、ココ!になる形へ。

主役の町

03. はっけよい、世界!

◉スポーツだけでなく伝統文化の“相撲”PR
五穀豊穣を願いシマの結束を表現した神事として受け継がれている相撲を披露!

◉観光誘致とした受け入れ事業の創出
インバウンド向けのHP作成や、モデルツアーを展開し導線を創る!

◉相撲競技×伝統文化＝町の魅力化
旅行会社との連携、クルーズ船誘致として来町者を世界中から増やしていく!



新たな導線の観光誘致として定着する形へ。

大きな世界へ

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞

“一緒に動かす”スポーツTEAM
「企画立案・運営」
・スポーツ協会・スポーツ少年団連絡協議会・スポーツ推進委員・総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会など

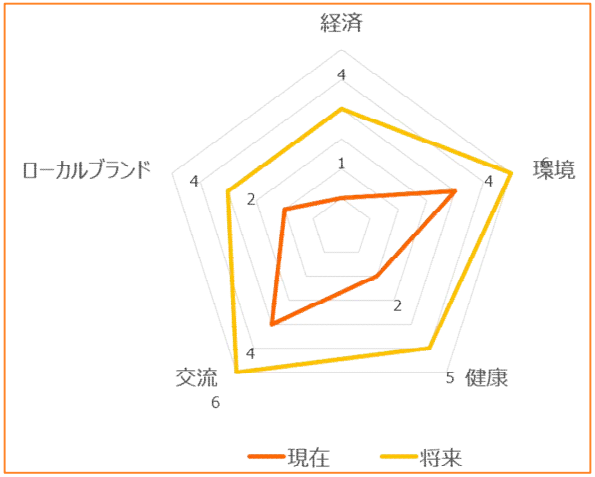
“ファシリテーター”行政TEAM
「全体をとりまとめ統括」
・担当事務局
“教育委員会社会教育課”
・観光部局
・企画部局
他関係部局との連携

町民・利用者

“持続サポートする”地域TEAM
「途切れないよう伴走」
・地域女性団体連絡協議会
・青年団連絡協議会
・学校関係者
・社会教育関係者など

“新しいへチャレンジする”観光TEAM
「新事業創出・PR」
・世界をつなぐSUMO推進協議会・大阪観光局
・観光協会及び関係者・商工会など

＜セルフチェックシート＞



【フォローアップ欄】令和８年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号
瀬戸内町教育委員会社会教育課
☎0997-72-2905